

令和6年度の学校経営について

大仙市立太田中学校

〈校訓〉	継続と徹底
〈学校教育目標〉	ま　　み　　い　　 (ツー) 学び合い 認め合い 生き生きと つながる

1 経営にあたって

(1) 生徒について (生徒数120名 普通学級4 特別支援学級1)

生徒は物事に一生懸命取り組むことを厭わない。素直で気持ちの優しい生徒が多く、やるべきことについては努力を怠らず、他者と協力し合う姿勢も見られる。また、地域への思いも強い。

自分で判断し自分の力で粘り強く物事を行うこと、広い視野や社会の色々な場面で活用できる知識・技能の習得、批判的、総合的・多面的に考えること、主体的に学びを深めたり自らの考えを積極的に表現したりすること、課題意識をもって協働的に取り組もうとすること等にやや物足りなさを感じる。こうした新しい時代に必要とされる資質・能力を育むことが、生徒の「自尊感情」を高めることと合わせて、今年度の本校の課題である。

(2) 保護者について

学校や教職員の指導に寄せる期待は大きい。授業参観やその他のPTA活動への参加率も高い。部活動への支援等、学校の諸活動についてもとても協力的である。

(3) 地域について

太田中学校区は、大仙市の東部の自然豊かな田園地帯に位置している。学区の東側には奥羽山脈が連なり、真木・真昼県立自然公園に指定されている。また、西側には水田地帯が広がり、農業が盛んである。秋田県民歌を作詞した倉田政嗣氏や法隆寺金堂壁画を模写した鈴木空如氏、そしてジブリ作品などを手がけた日本を代表する美術監督である男鹿和雄氏を輩出した地域でもある。多くの人が地域や地域の偉人に対する誇りと郷土愛をもちながら暮らしている。

しかしながら、県内の他の地域と同様に高齢化や少子化の進展が著しく、本校の生徒数も減少している。このことが、学校の活力や諸活動に少なからず影響を与えている。

2 経営の基本方針

(1) **今の学校の使命は**、生徒一人一人が、自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようすることである。学びに向かう姿勢、自分で考え判断すること、きちんと話すことなど、汎用性が高い力を確実につけてやりたい。

(2) **教職員は、生徒の学びの伴走者として**「生徒がわからないことがわかるようになるように、できないことができるようになるように、そして困っている状態が改善されるように支援をする」ことである。そのために常に最も適切な手立てを考え、生徒にエネルギーを傾注する。

3 目指す学校像・生徒像・教師像

(1) 目指す学校像

- ①生徒も教師も居場所のある学校
- ②成長を実感できる、安心感のある、やる気の出る学校

(2) 目指す生徒像

- ①学び合い
 - ・夢や目標の実現に向かって、主体的に学び、自分の考えをもつ。
 - ・相手意識をもって、自分の考えをきちんと伝える。
 - ・他の人の話を聞き反応し、自分の考えに生かす。
- ②認め合い
 - ・思いやりや寛容性があり、あらゆる他者を価値のある存在として尊重する。
 - ・対話や議論を通して、多面的な見方や考え方ができる。
 - ・協働的に課題に取り組むことができる。
- ③生き生きと
 - ・自分の良さや可能性を認識し、自分で判断し、粘り強く活動する。
 - ・責任感のある活動を通して、自己有用感を高める。
- ④つながる
 - ・適切な人間関係を築くことができる。
 - ・市民性と郷土愛をもち、社会と積極的に関わろうとする。

(3) 目指す教師像

- ①心身ともに健康で、前向きにがんばる。
- ②生徒一人一人の人格を尊重し、生徒理解に努め、信頼関係を築く。
- ③今日的な課題や社会の要請を把握し、自らの指導力向上に努める。
- ④使命が共通認識されていて、チームとして力を発揮する。

4 経営の重点

(1) 授業改善による「確かな学力」の向上

- ①時代に必要とされる資質・能力の共通理解
- ②個別最適な学び 端末利用等で各自の学び・まとめの時間の保障
- ③協働的な学び 授業の中で互いに関わり合う時間を設定
- ④授業で完結 授業時間内で完結し、一律の宿題を課さない
- ⑤各自の家庭学習充実を図る指導
- ⑥導入の工夫による意欲向上と、「できた。」「わかった。」と思える瞬間の設定
- ⑦受検による外的動機より、好奇心による外的動機付けへ
- ⑧ICTの効果的な活用

(2) 大仙教育メソッドをふまえた多様な教育活動

- ①大仙教育メソッドの共通理解
- ②市民性を育む地域・家庭での活動の励行
- ③人間関係形成・社会形成能力を育む各教科・総合・学活・道徳の学習、生徒会活動、地域貢献活動の推進
- ④協働的問題解決力を高める各教科・総合・学活の学習、生徒会活動の推進
- ⑤キャリアプランニング能力及び社会に関わろうとする態度や行動力を育む学級活動、上級学校訪問、職場体験学習、ボランティア活動の推進

(3) 心身の健康・たくましさの育成

- ①よい生活習慣・運動習慣の定着（アウトメディアチャレンジ・アスリート等）
- ②心の健康を目指す教育活動（講演会等）
- ③生徒の実態に合わせて重点を明確にした道徳教育
- ④読書の習慣化

(4) 特別支援教育

- ①感情的な言動等の問題行動への対応についての研修
- ②生徒一人一人のニーズに対する合理的配慮の共通理解
- ③校内支援体制の整備
- ④保護者や関係機関との連携

(5) 生徒指導

- ①規範意識を育て、秩序やルールを大切にする学級経営
- ②自己有用感を高める生徒会活動や地域貢献活動
- ③互いを肯定的に評価する場面の設定
- ④道徳教育の充実

5 学校運営面の留意点

(1) カリキュラムマネジメント

- ①学校教育目標をふまえ、教科横断的に教育課程を編成する。
- ②育てたい資質・能力を明示して諸活動を企画する。
- ③小学校や地域と連携した特色ある活動の充実を図る。

(2) 学校管理体制・生徒指導体制

- ①資料を活用した学校事故防止・不祥事防止研修の充実
- ②校舎点検等、教師の目につきにくい時間や場所を少なくする組織対応
- ③「学校生活アンケート」による情報収集
- ④生徒指導フォルダを活用した記録の蓄積と共有

(3) 学校改善につながる学校評価

- ①学校教育目標や重点を意識した評価項目の選定
- ②分掌担当者による評価と分析
- ③学校運営協議会委員と連携した学校評価検討会

(4) 教職員の働き方改革

- ①職場環境の改善 業務の効率化やノー残業デー
- ②教育効果を考えた行事等の見直し
- ③分掌バランスの再考とワークシェアリング